



国総研資料第 1277 号 「港湾分野における BIM/CIM の事例分析と ジェネリックオブジェクトの作成」を刊行します

BIM/CIM (Building/Construction Information Modeling/Management) とは、3次元形状モデルと属性情報を持つ3次元モデルを、測量・調査、設計、施工、検査、維持管理・更新の各段階において活用するものであり、公共事業全体での情報共有の効率化・高度化を図るものである。本研究は、BIM/CIMに関する知見を共有するため、BIM/CIM 試行業務/工事の概要、導入効果、課題等の事例分析を行い、事例集を作成した。また、3次元モデル作成に要する負担軽減のため、標準部品のジェネリックオブジェクト（メーカー固有の形状によらない、汎用的な3次元モデル）を作成した。

<目次>

- 第1章 はじめに
- 第2章 BIM/CIM の事例分析及び事例集作成
- 第3章 BIM/CIM ジェネリックオブジェクトの作成
- 第4章 おわりに

本資料は、国総研ホームページで公開しています。

ダウンロード先URL：<https://www.y.sk.nilim.go.jp/kenkyuseika/pdf/ks1277.pdf>

(問い合わせ先)

国土技術政策総合研究所 港湾情報化支援センター 港湾業務情報化研究室

室長 辰巳 大介 (内線：3350)

TEL：046-844-5019 E-mail：y.sk.nil-46pr@gxb.mlit.go.jp